

# ステパノの殉教

2022年6月19日

使徒の働き 7章51～60節

序：初代教会初の殉教者

信仰と聖霊とに満ちた人

恵みと力に満ちて不思議なしを行っていた

知恵と御霊によって、イエスの証し

議会に連行され、裁判

ステパノの弁明 = イスラエルの歴史を紐解く 父祖アブラハム～

出エジプトモーセ

ダビデ、ソロモン

割礼、律法、神殿に頼みを置くイスラエル ⇒ 偶像礼拝

I. 罪を糾弾する（先祖の時代から今に至るまで）

(1)神のことばと御計画に対する無視、不従順

(2)聖霊に逆らう

(3)神が遣わされた預言者たちを迫害（メシヤが来られる預言をした）

(4)その救い主さえも裏ぎり殺した

II. ステパノの殉教

人々

悔い改めない

憎しみ、怒り、悔しさ、殺意に満つ

憎悪が頂点に達する（忍耐の限界）

ステパノ殺害実行のみ

耳をふさいで聞かない

大声をあげて殺到

石打ち（神を冒瀆した罪）

殺した

ステパノ

事実に基づく明快な論証、罪の指摘

聖霊に満たされていた

天を見つめた（神の助け、頼り拠）

神の栄光、神の右に立つイエス

見て、証言

冷静、平穩、希望

祈り（自分のため、迫害者のため）

眠った

III. 神のみこころ

(1)ステパノのからだのいのちを助けなかった??!!

(2)イエスは父なる神の右の座に普段は座っておられる ⇒ 立った  
殉教の死に臨む忠実なしもべを即座にパラダイスに迎え入れるため  
聖徒の死は主の目に尊い

(3)敗北ではなく勝利を与える

イエスご自身が復活によって死と悪魔に勝利

(4)栄光の中に招き入れる

#### IV. 迫害者たち

- (1) イエスを罪に定めて殺した人たちは、ステパノをも憎み、偽証、殺害
- (2) 死刑執行には、ローマ総督の認可が必要だが？  
ユダヤ教の規定（石打ち＝神冒瀆の刑罰、証人たち）
- (3) 後でキリストの宣教者となるパウロもステパノ殺害に賛成・加担

#### V. 主イエスとステパノ

- (1) 苦難・死の向こうに天的勝利を見ていた
- (2) 「神を冒瀆した」という罪状
- (3) 自分のことを祈る  
イエス「父よ。わが霊を御手にゆだねます」 ルカ 23・46  
ステパノ「主イエスよ。わたしの霊をお受けください」 使徒 7・59
- (4) 敵対者のために祈る  
イエス「父よ。彼らをお赦しください。彼らは何をしているのか自分で分らないのです。」 ルカ 23・34  
ステパノ「主よ。この罪を彼らに負わせないでください。」 使徒 7・60
- (5) 信頼と従順によって、使命を完うした  
父なる神 主イエス

#### VI. 結び

- (1) 神の栄光は生きることにしても死ぬことにしても現せられる  
聖徒たちはみなそれぞれの走るべき道を走りきって、栄光に入れられる
- (2) 死においても復活の約束ゆえ希望がある  
死ではなく眠り
- (3) キリスト信者の霊を受け入れてくださるのは、復活の勝利者主イエス
- (4) 聖徒たちは「生きるにしても、死ぬにしても主のもの」主のため  
自分のため、隣人のためはそれに付随
- (5) 神の召しに従う、キリストの御足の跡をたどる  
皆が同じではない  
「あなたはわたしに従いなさい」 イエス → ペテロ  
ヨハネ 21・22